

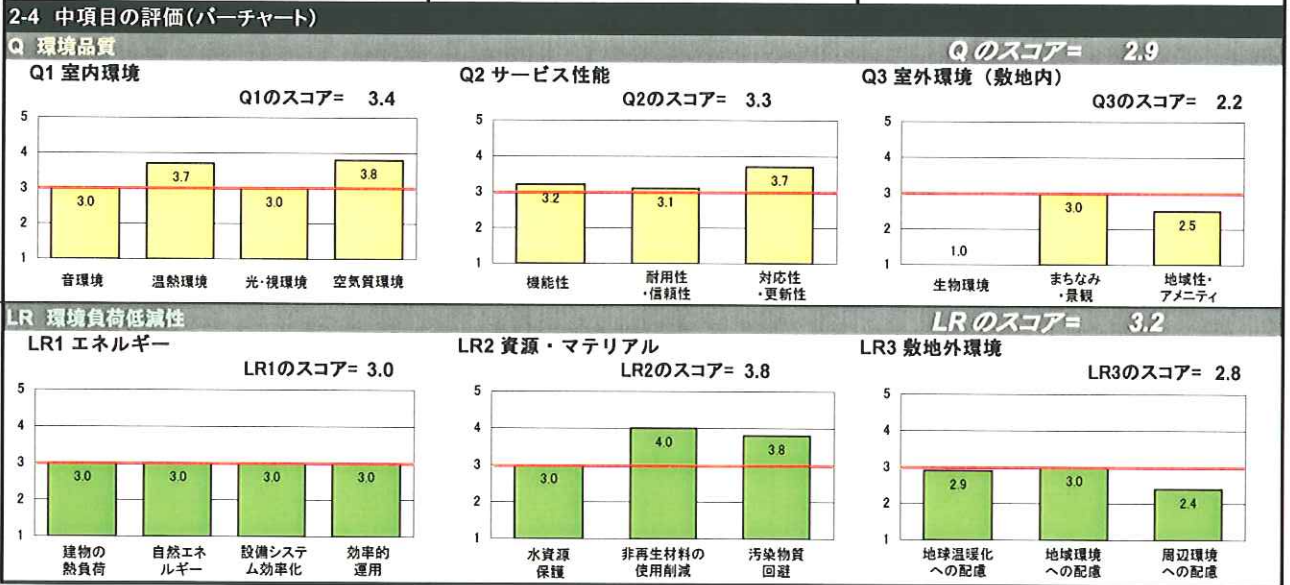
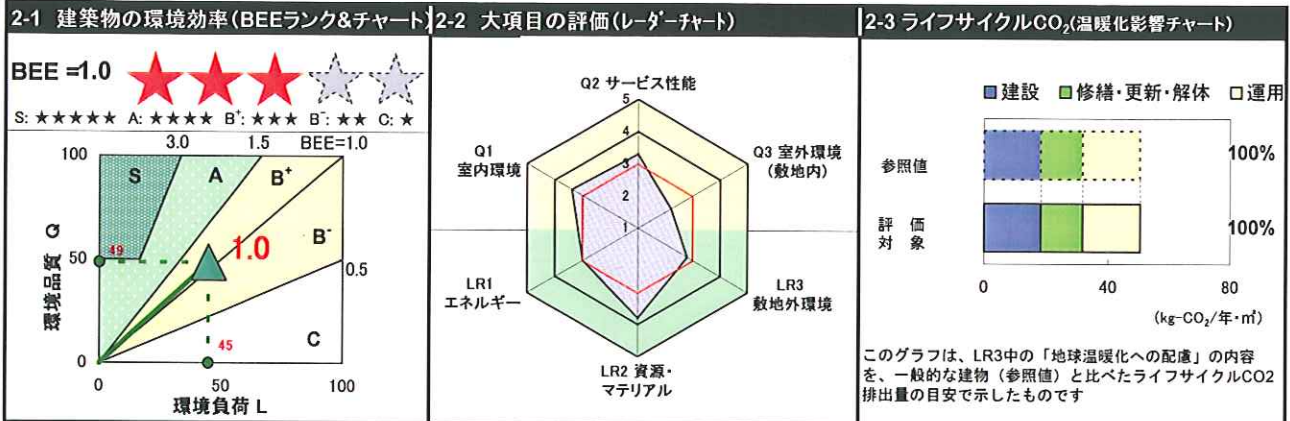
# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.2.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	コーティング2号機建物		階数	地上2F
建設地	京都府亀岡市余部町新堂10番地		構造	S造
用途地域	工業地域、指定なし		平均居住人員	30人
気候区分	地域区分IV		年間使用時間	270時間/年
建物用途	工場		評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2009年2月	予定	評価の実施日	2009年2月5日
敷地面積	40,417 m <sup>2</sup>		作成者	稲葉
建築面積	2,169 m <sup>2</sup>		確認日	2009年2月6日
延床面積	3,110 m <sup>2</sup>		確認者	稲葉

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
建物外観をシンプルな形状で計画し、総合効率の良い建物とした。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 建物外壁に極力開口部を設け採光・通風に配慮した。	<b>Q2 サービス性能</b> ①クリーンルームの天井高さを2.7m以上とし、作業者の快適性に配慮した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ②階高を抑え景観を壊さない計画とした。
<b>LR1 エネルギー</b> 外壁の断熱性能の確保。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ①再生建築資材の利用 ②4☆資材の利用	<b>LR3 敷地外環境</b> 屋外にゴミの分別可能な施設の計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい